Odakyu Hakone

News Release

２０１８年８月１日

「世界に誇る観光地 箱根」への挑戦
小田急箱根グループでは２０２０年度にかけて箱根エリアにおいて総額１００億円規模の大型投資をスタートします
観光×経験　～ここでしか得られない“特別な想い出”を～

日本有数の観光地、箱根において交通サービスを中心に事業を展開している小田急箱根グループでは、２０１８年度から２０２０年度にかけて、乗り物の新造や駅舎改良をはじめとする総額１００億円規模の大型投資を順次開始します。

今回の大型投資により、日本国内や世界各地から訪れるゲストにより楽しく、快適に箱根を周遊していただき、“特別な想い出”として心に残る経験のお手伝いをすることで、今後も箱根エリアの発展に貢献してまいります。

大型投資計画の概要は下記のとおりです。

記

【大型投資のポイント】

『もっと乗りたくなる箱根』～乗り物でめぐる箱根の楽しさのさらなる追求～

（１）箱根観光船㈱	**新型海賊船の建造**
（２）箱根ロープウェイ㈱	**新型ゴンドラの導入**
（３）箱根登山鉄道㈱	箱根登山電車新型車両の追加導入
（４）箱根登山鉄道㈱	箱根登山電車２０００形車両の更新
（５）箱根登山鉄道㈱	箱根登山ケーブルカーの更新
（６）箱根登山バス㈱	路線バス車両の増車と更新

『もっとまわりたくなる箱根』～より充実した空間の提供に向けた山内施設の機能的・質的向上～

（１）箱根登山鉄道㈱・箱根ロープウェイ㈱	**早雲山駅舎の改築および改修**
（２）箱根登山鉄道㈱	箱根登山電車各駅の改築
（３）箱根登山鉄道㈱	箱根強羅公園 体験工芸館「箱根クラフトハウス」のリニューアル
（４）箱根ロープウェイ㈱	大涌谷駅待合室の新設
（５）箱根登山バス㈱	箱根キャリーサービスの運搬車両を増強

『もっとわかりやすい箱根』～より快適な箱根周遊の実現に向けたサービスの充実～

（１）箱根登山バス㈱	バスロケーションシステムの導入
（２）小田急箱根ホールディングス㈱	情報媒体の多言語対応強化

※詳しくは、次ページからの説明文をご覧ください

Ⅰ　『もっと乗りたくなる箱根』～乗り物でめぐる箱根の楽しさのさらなる追求～

1　箱根観光船㈱　新型海賊船の建造

「心ときめくクルーズ」をコンセプトに、さらに上質のリゾート感覚を味わっていただくために新たな海賊船を建造します。温かみのある木材を床から天井まで贅沢に使い、調度品についても細部までこだわってクラシック感を演出します。船体の色は湖面に映える上品な黄金色を採用します。
内外装のデザインは、居住空間作りに定評のあるドーンデザイン研究所（代表：水戸岡鋭治氏）が担当します。

(1)	全　　長	約３５メートル
(2)	総 ト ン 数	約３１９トン
(3)	定　　員	５４１名
(4)	建　造　費	約１２．５億円
(5)	デザイン設計	ドーンデザイン研究所 代表　水戸岡　鋭治氏
(6)	建 造 会 社	ジャパン マリンユナイテッド株式会社
(7)	名　　称	２０１９年２月進水式で命名
(8)	就　　航	２０１９年４月（予定）
(9)	運 航 会 社	箱根観光船株式会社 （本社：神奈川県小田原市　社長：岡本 裕之）

【箱根観光船　新型海賊船イメージ】

２　箱根ロープウェイ㈱　新型ゴンドラの導入

より安全性の高いゴンドラを目指して、早雲山～大涌谷間に安全性能に優れたＣＷＡ社製の最新型ゴンドラＴＡＲＩＳ（タリス）を日本初導入します。
扉開口部を大型化してお客さまの乗り降りの際の安定感が向上します。また、ゴンドラのガラス面の拡大によって一層パノラマビューをお楽しみいただけます。

(1)	室内面積	７．５９㎡
(2)	乗車定員	１８名
(3)	形式	ＣＷＡ社製　ＴＡＲＩＳ（タリス）
(4)	製造数	２０台
(5)	製造費	約１５．５億円
(6)	営業区間	早雲山線（早雲山駅～大涌谷駅）
(7)	営業開始	２０２１年４月（予定）
(8)	運行会社	箱根ロープウェイ株式会社 （本社：神奈川県小田原市　社長：鞠子 篤也）

【箱根ロープウェイ　新型ゴンドライメージ】

３　箱根登山鉄道㈱　箱根登山電車新型車両の追加導入

２０１４年就役の眺望が優れた最新車両アレグラ号を追加導入します。増備によって車両運用を円滑化し、繁忙期には全列車を３両編成で運転します。

(1) 営　業　開　始	２０１９年　５月（予定）２両
	２０２０年　時期未定　　２両固定編成　１編成
(2) 総　製　造　費	約１２．９億円
(3) デザイン設計	岡部憲明アーキテクチャーネットワーク
	代表　岡部 憲明氏
(4) 運　行　会　社	箱根登山鉄道株式会社
	（本社：神奈川県小田原市　社長：府川 光夫）

【箱根登山電車　アレグラ号】

４　箱根登山鉄道㈱　箱根登山電車２０００形車両の更新

車体の更新時期を迎える２０００形車両について、制御装置の更新および空調装置の搭載場所を室内から屋根上に変更することで、車内空間を拡充します。

(1)　営　業　開　始	２０２１年～２０２２年頃（予定）
(2)　対　象　車　両	２０００形２両固定２編成
(3)　更　新　費　用	約８．０億円
(4)　運　行　会　社	箱根登山鉄道株式会社

【箱根登山電車　２０００形】（現行車両）

５　箱根登山鉄道㈱　箱根登山ケーブルカーの更新

２０２１年の鋼索線開業１００周年に向けて、現在のケーブルカー車両を内装、外装ともに大規模リニューアルします。あわせて、ケーブルカー巻上設備を新造して、安全性も高めます。

(1) 営 業 開 始　　２０２０年４月（予定）
(2) 更 新 費 用　　約７．８億円
(3) 運 行 会 社　　箱根登山鉄道株式会社

【箱根登山ケーブルカー】（現行車両）

６　箱根登山バス㈱　路線バス車両の増車と更新

輸送力の高い大型車両の増備を推進します。大型荷物にも対応したラゲージスペースを運転席後ろに標準装備します。

(1) 更 新 台 数　　約５０台
(2) 更 新 期 間　　２０１８年度～２０２２年度
(3) 更 新 費 用　　約１１．６億円
(4) 運 行 会 社　　箱根登山バス株式会社
　　（本社：神奈川県小田原市　社長：中丸 富夫）

【箱根登山バス】現行車両

ラゲージスペース（イメージ）

Ⅱ 『もっとまわりたくなる箱根』～より充実した空間の提供に向けた山内施設の機能的・質的向上～

1　箱根登山鉄道㈱・箱根ロープウェイ㈱　早雲山駅舎の改築および改修

箱根登山ケーブルカーから箱根ロープウェイへの乗換駅の早雲山駅について、箱根登山ケーブルカー駅舎部を建て替えるとともに、箱根ロープウェイ既存駅舎と一体化し、駅機能の強化を図ります。
バリアフリーなど乗り換え機能強化に加えて、大文字焼きが行われる明星ヶ岳や遠く相模湾を一望いただけるテラスには足湯も設置する予定です。

(1)	所　在　地	神奈川県足柄下郡箱根町強羅１３００－３２８他
(2)	概　　要	①箱根登山ケーブルカーと箱根ロープウェイとの乗り換え機能の強化 ②バリアフリー対応の強化 ③明星ヶ岳や相模湾を一望する足湯テラスの設置
(3)	敷地面積	約４，２７０㎡
(4)	規模・設備	総面積約４，８００㎡（地上２階、地下１階） エレベーター３基、エスカレーター４基
(5)	営業開始	２０２０年春（予定）
(6)	建築費用	約２４．１億円

【早雲山　新駅舎イメージ】

２　箱根登山鉄道㈱　箱根登山電車各駅の改築

箱根登山鉄道の下記４駅において老朽化更新と耐震強化を目的とした駅舎の改築と、すでに設置済みの入生田駅を除く３駅については多目的トイレを新設します。安全性の向上や待合スペース拡充など、ご利用いただきやすい駅を目指します。

(1) 対　象　駅　　箱根板橋駅、入生田駅、大平台駅、小涌谷駅
(2) 使 用 開 始　　①２０１８年８月（予定）　箱根板橋駅、入生田駅
②時期未定※　大平台駅、小涌谷駅
※２０１８年度～２０１９年度施工予定
(3) 改 築 費 用　　約３．９億円
(4) そ　の　他　　塔ノ沢駅、宮ノ下駅、彫刻の森駅についても２０１８年度～２０２０年度に、トイレの改修を実施（予定）
(5) 運 営 会 社　　箱根登山鉄道株式会社

【箱根板橋駅イメージ】

３　箱根登山鉄道㈱　箱根強羅公園体験工芸館　箱根クラフトハウスのリニューアル

２０１９年の開業１５周年にあわせて、施設リニューアルと体験施設を充実します。また、ガラス・陶芸作家の創作したガラスアートや器などの作品を取り扱う雑貨セレクトショップをオープンします。

(1) 所　在　地　　神奈川県足柄下郡箱根町強羅１３００　箱根強羅公園内
(2) 営 業 開 始　　２０１９年４月（予定）「ポタリーペインティング体験」
２０１９年７月（予定）「切子体験」
お土産スポット「こまもの屋 箱根」
(3) 費　　用　　約１．０億円
(4) 運 営 会 社　　箱根登山鉄道株式会社

【体験スペース イメージ】

【お土産スポット イメージ】

４　箱根ロープウェイ㈱　大涌谷駅待合室の新設

大涌谷駅舎内に、旅客滞在スペースの確保や防災備蓄品の配備など火山防災を目的に待合室を設置します。待合室は富士山側に面しており、富士山ビュースポットとしてもお楽しみいただけます。

(1) 所　在　地　　神奈川県足柄下郡箱根町仙石原１２５１
(2) 建 築 面 積　　１７４．７７㎡
(3) 使 用 開 始　　２０１８年１２月（予定）
(4) 建 築 費 用　　約３．３億円
(5) 運 営 会 社　　箱根ロープウェイ株式会社

【箱根ロープウェイ　大涌谷駅待合室イメージ】

５　箱根登山バス㈱　箱根キャリーサービス運搬車両の増強

「箱根を身軽に楽しむ」というコンセプトで２００５年に手荷物配送サービスを開始しています。４２０を超える提携ホテル、旅館へ年間取扱１０万個以上のお荷物をお運びしており、運搬車両を順次更新するとともに増車を進めます。

(1) 更 新 台 数　　約１０台うち３台は増車
(2) 更 新 期 間　　２０１８年度～２０２２年度
(3) 更 新 費 用　　約０．１億円
(4) 運 営 会 社　　箱根登山バス株式会社

【箱根キャリーサービス運搬車両】

Ⅲ　『もっとわかりやすい箱根』～より快適な箱根周遊の実現に向けたサービスの充実～

１　箱根登山バス㈱　バスロケーションシステムの導入

安心してバスをご利用いただけるよう、ＧＰＳ等を用いてバスの位置情報を収集し、スマートフォンに配信する「バスロケーションシステム」を導入します。

(1) 対 応 言 語　　日本語、英語、中国語（繁体・簡体）、韓国語
(2) 運 用 開 始　　２０１９年３月（予定）
(3) 運 営 会 社　　箱根登山バス株式会社

２　小田急箱根ホールディングス㈱　情報媒体の多言語対応強化

訪日外国人の方にわかりやすく観光情報を提供するため、ＷＥＢサイト、多言語パンフレットの充実を図ります。

(1) 実 施 内 容　　①観光ポータルサイト「箱根ナビ」外国語版リニューアル
　　②多言語パンフレットの拡充
(2) 実 施 時 期　　２０１９年３月（予定）
(3) 運 営 会 社　　小田急箱根ホールディングス株式会社
　　（本社：小田原市　社長：五十嵐 秀）

【箱根ナビ外国語版（現行）】

【各種多言語パンフレット（現行）】

以　上